

富河建発第10－8号

平成20年10月22日

国土交通省道路局長 殿

富士河口湖町長 渡邊凱保



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたこのことについては、別紙のとおり回答いたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山梨県富士河口湖町

富士河口湖町では、恵まれた自然環境や交通アクセスの利便性を生かしながら道路行政に取り組んでいます。地域経済社会の活性化や地域住民生活の質の向上を目指す場合、道路整備は必要不可欠であり、何よりも地域の施策との連携が重要であると考えています。新たな地域づくり、まちづくりのためには、地域内外の交流を促進し、地域住民の日常生活における利便性を向上させ、安心・安全を重点に置いた取り組みが必要であります。また、本町では富士山の世界文化遺産登録に向けた取り組みが進められており、今後、景観に配慮した整備を重視し、地域一体となった取り組みを最重要課題と考えております。このため、今後の道路整備には大きな期待が寄せられており、以下に挙げる基盤整備を実現させるためにはその財源を確保する必要があります。地方の道路整備の重要性を十分認識して頂き、本町を含めた富士北麓地域の現状を理解いただく中で、地域発展に必要な社会基盤の整備及び幹線道路の整備に必要な「道路整備財源」の確保が今後、本町にとって重要な課題となっております。

1. 地域観光を支える道路整備

恵まれた自然環境を楽しむため、一休みするポケットパークや車を置けるスペースの確保。旧道を利用した駐車場やミニパークの整備。各種施設間の移動に自転車等を活用する場合の安全な通行空間を確保するため、自転車道やウォーキングトレイルの整備。

2. 安心安全で快適な美しい町並みに資する道路の整備

歩道の整備、段差解消など誰もが安全で安心できる道づくり。基幹道路及びバイパス整備だけを重点目標とするだけでなく、現道に於ける部分的な拡幅改良。また通学路の安全対策に伴う歩道整備やバリアフリー化。

3. 景観に配慮した道路整備

世界遺産登録に向け、現在あるものを有効活用する中で後世に残る基盤整備。利便性だけでなく地域の声を重視し、地域住民の意見が直接反映できるような道路整備。

②－１ 地域の現状と抱える課題

山梨県富士河口湖町

○現状

①本町及び周辺地域は、富士北麓圏の観光リゾートの中心でありながら公共交通機関は依然として立ち遅れているため、人や物の移動などほとんどを自動車交通に頼らざるをえない状況である。また、富士五湖地域や観光施設周辺においての交通渋滞も課題となっている。

②本町には急傾斜地や落石箇所など危険箇所が多くあり、日常生活においてに支障をきたしている地域がある。
また、全国的に進行する少子・高齢化社会において、適切な通行空間を配置し、誰もが安心できる移動空間の整備が必要であるが、まだ確立されていないのが現状。

③富士山・世界遺産登録の取り組みの中で、景観に配慮した整備が重要となるが、地区住民や富士山、富士五湖に関わる関係者への理解が必要。

○課題

①骨格道路を確立させ、都市計画道路等の整備を推進する。広域幹線道路網の整備促進による通過交通の排除と住民生活の安全性や利便性の確保、観光客などによる市街地の交通渋滞の解消に向けた町内道路網の整備。

②危険箇所の回避が必要であり、バイパス整備だけではなく部分的な改良を実施。また災害に強い道づくりの計画の策定。少子・高齢化社会においては、バリアフリー化によるやさしい道づくりが必要。安全性を重視した歩車道の分離や通学路の歩道整備による交通安全対策の実施。ウォーキングトレイルの整備等

③景観性・利便性だけではなく地域住民が定着するものでなければならない。地域の声を聞き、地域一体となつての取り組みとし、後世に残る基盤整備の実施。

②－２ 地域の目指すべき将来像

山梨県富士河口湖町

- ・ 身近な生活道路や狭隘道路の改善整備
- ・ 広域幹線道路網の整備促進、広域化する住民生活の利便性の向上と観光渋滞の解消、災害時の緊急輸送路の確保
- ・ 冬季の道路凍結・除雪対策として融雪装置や融雪溝の整備、雪捨て場の確保のためポケットパークの整備、そのための旧道路敷地の有効活用
- ・ 交通安全施設の整備、交差点の改良、落石災害防除など安心・安全な道づくり
- ・ 歩道の整備、段差の解消、ベンチの設置、ポケットパークの整備などバリアフリー化などによる障害者や高齢者にやさしい道づくり
- ・ 街路樹の整備、道路照明や電線類の地中化など道路環境の整備を図るとともに、沿道の建物の敷地内緑化、花壇整備の促進、看板の規制など美しい街づくりの促進

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

山梨県富士河口湖町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	・ 国道 137 号第 2 期バイパスの整備 ・ 国道 137 号吉田河口湖バイパスの整備 ・ 一般県道富士河口湖芦川線（若彦路）の整備 ・ 都市計画道路船津小海線の整備 ・ 町道乳ヶ崎線の整備 ・ 国道 139 号の維持・管理、整備・充実 ・ 国道 139 号と県道精進湖畔線との交差点改良 ・ 国道 139 号と町道富士登山道線の交差点歩道橋設置	・ 幹線道路網の整備により中心市街地からの通過交通の排除や住民生活の利便性・安全性が向上される。また市街地の交通渋滞も解消され、住みやすい地域づくりが期待できる。 ・ 災害時の緊急輸送道路として効果があり、大規模災害への備えとなる。 ・ 安全な通行空間が確保され、通学路の安全対策に効果的となる。 ・ 地域の声が反映され、地域一体となった基盤整備が形成される。	